

障害別相談件数

形態	障害	視覚障害	聴覚障害	精神薄弱	肢体不自由	病弱	言語障害	情緒障害	重複障害	その他	計
来所相談	実件数	4	3	70	20	4	24	158	3	21	307
	延件数	12	8	434	88	16	116	904	6	60	1,644
地域相談	実件数	33	24	82	13	88	5	23	34	8	310
	延件数	210	359	296	51	224	68	168	163	20	1,559
巡回就学相談	実件数	1		30	9	2	12	32	1	3	90
	延件数	1		30	9	2	12	32	1	3	90
計	実件数	38	27	182	42	94	41	213	38	32	707
	延件数	223	367	760	148	242	196	1,104	170	83	3,293

地区別相談件数（延件数）

形態	地区	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	その他	計
来所相談		286	1,070	101	89	5	59	25	9	1,644
地域相談		551	88	43	233	5	154	479	6	1,559
巡回就学相談		13			27		25	25		90
計		850	1,158	144	349	10	238	529	15	3,293

### 第3節 教職員研修事業

#### 1 研修講座内容の充実

本年度は、障害児を取り巻く社会の変化や多様な教育ニーズを踏まえ、講座内容の一層の充実を図った。

- (1) 専門研修講座を16講座とし、教育の個別化、情報化、国際化等、現在の教育課題に対応した研修内容の充実を図るとともに、教職員のニーズに応えられるようにした。

- (2) 少人数グループを編成し、講師とのやりとり、体験発表や協議・演習・実技等を充実させ、受け身の研修ではなく、主体的に研修に参加できるようにした。
- (3) 専門職としての資質の向上を図るため、各障害種別毎に実績ある講師の講義等を重視した。また、医療や福祉の現場で実践を積み重ねてきた講師や障害児教育以外の分野で活躍している多様な人材を登用し、広い視野に立ちながらより深い専門性が身に付くような講座内容にした。
- (4) 養護教育センターの相談事業や調査・研究事業の成果を講座内容に盛り込んで、その成果が具体的に生かされるようにした。

#### 2 教職員の研修講座

##### (1) 専門研修

講座名	区分	期 間	受講者数
養護教育研究実践研修講座	前期	6月2日～6月3日	3
	中期	10月22日～10月23日	(3)
	後期	12月2日～12月3日	(3)
自閉症児の教育研修講座		6月11日～6月13日	26
学習障害（LD）児の教育研修講座		6月11日～6月13日	22
視覚障害教育研修講座		6月17日～6月19日	6
肢体不自由養護・訓練研修講座		6月23日～6月25日	7
病弱教育研修講座		7月1日～7月3日	8
心身障害児教育相談研修講座		7月1日～7月3日	26